

2015年(平成27年)10月20日(火曜日)

岩手日報

暴力などから
子どもを守る

盛岡で講習会

暴力から子どもを守るための活動を行う団体・CAP岩手(高橋寿美子代表)は18日、盛岡市中ノ橋通のプラザおでつで「公開おとなワークショップ」を開き、子どもを守るための大人の役割などについて参加者が理解を深めた。

高橋代表ら同団体のメンバーが暴力やいじめなどについて説明。地域や学校で実施している子ども向けのワークショップを、いじめや誘拐、性被害に遭ったときの対応などを守劇を交えて実演した。このうち誘拐の寸劇では▽足が自由なときは相手を蹴る、踏む▽後ろから羽交い締めされたら腹を肘で突く▽

口をかさがれたら相手の小指をつかみ引きはがすーなどの不審者への対応を紹介した。

子どもが暴力に遭ったとき「自己肯定感」が身を守り、自己肯定感を育てるためには話を聞くことが重要と説明。高橋代表は「話し



子どもへの暴力などについて説明するCAP岩手の公開おとなワークショップ。

てくれてありがとう、
あなたを信じている、
あなたは悪くない、と
伝えて」と助言した。

同団体は11月7日午後5時から、盛岡市盛岡駅西通のいわて県民

情報交流センター(アイーナ)で「子どもをめぐる環境について語りあう会」を開く。子ども支援を行う人ら対象、定員20人。参加費一般500円、賛助会員無料。

問い合わせ、申し込みは団体事務局(080・3190・1132、ファクス019・654・6922、メール info@cap-iwate.org)へ。